



**五十嵐 健一郎 議員**  
**糸魚川版包括ケアシステム  
構想の取り組みについて**

**糸魚川版包括ケアシステム  
構想の取り組みについて**

質 問

介護サポーターの養成や自立支援専門員及び認知症サポーターの配置等、介護の人材確保の現状について伺う。

市長答弁

介護サポーターの養成は実施していないが、孤立しやすい男性介護者を支援する目的の介護講座等を実施している。自立支援専門員については、県内7エリアの基幹となる社会福祉協議会に配置されており、上越地域では上越市社会



**松尾 徹郎 議員**  
**糸魚川市総合計画  
後期基本計画について**

**糸魚川市総合計画  
後期基本計画について**

質 問

糸魚川市総合計画後期基本計画は、当市の方向性を示す重要な将来設計である。しかし、国の財政が厳しい見通し

市長答弁

の中で、各種事業における選択と集中を心掛ける必要があると考える。そこで、後期基本計画における重点事業、優先度について伺う。

福祉協議会に3人の専門員がいる。当市では現在8人の方がこの制度を利用している。認知症サポーターについては、その養成は平成20年から実施している。認知症の方や家族を地域で支えるサポーターとして考えている。



福祉分野では、救急医療の充実のほか、介護給付や医療費の抑制のため、健康づくり事業の推進や、疾病の早期発見、早期治療に努めていく。

2つ目の「教育分野」では、「子ども一貫教育方針」に基づいた教育活動の推進を行う。また、学校・保育園等の耐震化を含めた安全・快適な教育環境の整備、新しい公民館体制の構築、市民会館のリニューアルや能生体育館の改築などに取り組む。

3つ目の「生活基盤分野」では、平成27年春の新幹線開業に向けた駅周辺整備や、中央

**地域新エネルギー  
ビジョンの推進について**

質 問

新エネルギーの導入を図るため、住民参加型市場公募債の活用やグリーン電力証書の発行の取り組みはどうか。

また、再生エネルギーに係る市内企業の技術的参画への支援や、発電施設の整備に係る立地支援等の状況は。

市長答弁

住民参加型市場公募債やグリーン電力証書については、他

大通り線等の幹線交通網の整備を進めていく。また、橋りょうの長寿命化計画を策定し、修繕費の平準化とコスト縮減に取り組む。

4つ目の「産業分野」では、地域の各産業が持つ資源や技術を有効に結びつけ、新たな商品・サービスやブランドの創出に向けた取り組みを進めていく。また新幹線開業を控え、民間事業者等の協力を得ながら交流人口の拡大を図る。

5つ目の「生活環境分野」では、一般廃棄物及び産業廃棄物最終処分場の適正化や、新たなごみ処理施設の検討を進

自治体の状況等の情報収集を行いながら、導入の可能性について検討したい。

再生エネルギーに係る市内企業への支援については、技術開発時の市内企業と産官学連携や、見本市への出展助成、異業種連携を通じた商談等を支援していきたい。

発電設備の立地に関しては、民間企業の立地事案に応じて、国、県の優遇策を紹介しながら立地を支援していきたいと考えている。

める。また、防災行政無線や消防団無線、消防・救急無線のデジタル化に向けた取り組みを進める。

6つ目の「地域づくり・自治分野」では、「地域づくりプラン」の策定や、地域住民の自主的・主体的な取り組みに対する活動の支援を行っていく。

なお、総合計画後期基本計画にある主要事業は、中期財政見通しを毎年度作成し、予算査定等の段階で、優先度等を踏まえながら事業化を行っているところである。